

R8 年度 沖縄県立宮古病院 市民公開講座について

令和 8 年9月 24 日

沖縄県立宮古病院

院長 川満 博昭

【開催趣旨】

宮古医療圏の将来を展望すると、今後高齢者の割合が増加し、2040 年ごろにピークを迎えるのに伴い、医療需要が 1.1 倍、介護需要が 1.4 倍増大することが見込まれています。一方でそれを支える若年人口は減少していきます。

現在の宮古島においても高齢者の医療、介護は十分には提供されているとは言えない状況にあることを考えると、悲観的な未来像が見えてしまいます。

これに対する対策として、当院では、リハビリテーション、リエイブルメントを充実していくということを一つの解決策として提案致します。

宮古医療圏域の重大な弱みとして、現在、リハビリテーションに従事する理学療法士、作業療法士、言語療法士などの医療スタッフは人口比で、沖縄県内で一番少ないという事があげられます。つまり、宮古医療圏においては高齢になって体が動かなくなってきたときに、それをサポートする体制が沖縄一整っていない地域という事です。

しかし、もしリハビリテーションを充実させる事ができれば、改善する余地がたくさんあるという事です。末永く、できる限り自立した老後を過ごす未来のために、みんなで何ができるかを、今回の市民公開講座を通じて一緒に考えていきましょう。

【概要】

キャッチコピー： 「治る」から「自分らしく生きる」へ～リエイブルメントを知ろう

正式タイトル ： 「住み慣れた宮古島で暮らし続けるために
～リハビリテーションからリエイブルメントへ～」

目的：宮古島市民へ、退院後のリハビリテーションの重要性や地域でのサポート体制を啓発することで、高齢者が住み慣れた地域で元気に活動するための具体的なイメージを持ってもらい、介護予防や積極的な社会参加に向けた行動変容を促す一助となることを目的としております。

日時： 11 月 7 日（土） 14:00－16:30

会場： 宮古島市役所 2 階大ホール（宮古島市平良字西里 1 1 4 0）

(次第)

14:00 開会のあいさつ 宮古病院長 川満博昭

14:05 第1部 基調講演

「攻めのリハビリで20歳若返る！ ～どんな病気になっても元気である秘訣～」

ちゅうざん病院院長 田島文博先生

14:50 第2部 講演(宮古島の状況)

宮古病院院長 川満博昭

宮古病院整形外科部長 池間正英

宮古島市高齢者支援課 馬場綾子

15:50 第3部 シンポジウム

テーマ:「住み慣れた宮古島で暮らし続けるために ～リハビリからリエイブルメントへ～」

座長: 宮古病院副院長 与那覇博隆

コメンテーター: ちゅうざん病院院長 田島文博先生、

沖縄県理学療法士協会宮古支部長 砂川真利香

パネリスト: 宮古病院長 川満博昭

宮古病院整形外科部長 池間正英

宮古島市高齢者支援課 馬場綾子

16:25 閉会のあいさつ 宮古病院副院長 下地千里